

開催しました！

# 企業の社会貢献を考えるフォーラム

平成26年11月28日（金）松江市のくにびきメッセ（国際会議場）で「企業の社会貢献を考えるフォーラム」を開催しました。

当日は、企業関係者をはじめ、NPO・社会福祉協議会関係者など、約100名の方にご来場いただき、基調講演や事例発表（パネルディスカッション）を通して、企業の社会貢献に関する認識を深めました。

## 第一部：基調講演

「社会デザイン学への招待－企業のイノベーションと社会貢献へ向けて－」

講師：立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科委員長・教授 中村 陽一 氏

### 【ポイント】

問題は、少子高齢化のみならず、「お一人様が全世代で最多になること」、つまり、単独世帯が増え続ける中で、既存の課題に加えて新たな課題が生まれていることである。その解決のために、企業・NPO・行政等の組織はそれぞれにどのような役割を担うのかよく考え、つながり、創り出したい社会、事業や活動を通じて実現したい価値を共創する（CSV）必要がある。

### 【参加者アンケート抜粋】

- ・企業と他団体（NPO・NGOなど）の関係性と、社会的役割、役割分担と連携の可能性が見えそうです。大変わかりやすく勉強になりました。
- ・日本、あるいは世界の現状認識をすることができました。起業を考えている中で、参考になるお話がたくさんあり感謝しております。
- ・今のニーズが従来と異なってきていること。そのために動きだす必要性を再認識した。地域のために自分に何ができるのかを、考え動き続けたいと思えた。大変参考になった。



## 第二部：パネルディスカッション「地域とつながる企業ボランティア」



パネリスト

株式会社ヒロクニ建設 廣國 勝利 氏

出雲市斐川地域にある福祉施設の清掃など、地元社会福祉協議会のコーディネートにより、社員教育の一環で地域に密着したボランティア活動を実施している。

また、社会福祉協議会に車椅子用ワゴン車や送迎用ワゴン車を寄贈した。

地域の皆さまに愛される会社として、また社会貢献の責務が果たせる企業として、わが社のできる範囲で背伸びをせず、継続して今後も取り組んでいきたい。

パネリスト

特定非営利活動法人でごねっと石見 白川 和子 氏

江津市において「う・まいんど」という業種や肩書を超えた若い人のネットワークづくりを仕掛けた。単に若い人を集めるだけではなく、市役所・商工会議所・民間企業の幅広い組織からの参加を募り、交流を深め、顔の見える関係を築くことで、少しずつ地域が元気になっていったように思う。

垣根を超えた異業種のネットワークづくりに若い社員が積極的に向かえるよう、経営者も後押ししてほしい。



パネリスト

企業ボランティア松江ネットワーク会議 雨川 益男 氏

地域を活性化するために加盟企業や個人が松江市の様々な場面でボランティア活動を実施するという全国的にも珍しい取り組み。

企業の持つ本来スキルを活かした社会貢献活動が段々と活発になってきていたり、社員のボランティア意識の向上という成果を上げている。

また、災害時の支援や、福祉課題解決に向けた仕組みづくりなども今後は期待される役割だと考えている。

コーディネーター

島根大学法文学部 准教授 毎熊 浩一 氏

「何か始めたい。しかし何から始めたらいいかわからない。」ということはよくある。そういうときに、社会福祉協議会やNPOなどに声をかけてみると、その第一歩が踏み出せるのではないかなと思う。

多くの大学生は、中小企業が地域に必要とされていると学生向けアンケートで答えている。社会貢献に限らず、本業も含めて、若者が期待をしているということをこの場をお借りしてお伝えしておきたい。

